

## 安定ヨウ素剤についてのQ & A

Q 1 : 安定ヨウ素剤とはどのようなものですか？

A 1 : 安定ヨウ素剤はヨウ化カリウムを内服用に製剤化したものです。緊急時に放射性ヨウ素からの内部被ばくを低減することを目的として承認されている医療用医薬品で丸剤、ゼリー剤、粉末剤があります。3歳未満の乳幼児や丸剤の服用が困難な方にゼリー剤又は粉末剤を使用しますが、粉末剤は水等で溶かしてから使用する必要があります。なお、事前に配布する安定ヨウ素剤は丸剤、ゼリー剤です。

Q 2 : 放射性ヨウ素とはどのようなものですか？

A 2 : 放射線を出すヨウ素のことです。

Q 3 : 安定ヨウ素剤はどのように働くのですか？

A 3 : 安定ヨウ素剤を服用すると、放射性ヨウ素が体内に蓄積する量を低減することができます。

Q 4 : 安定ヨウ素剤の替わりになるものはありますか？

A 4 : 昆布やわかめなどの海藻類などにはヨウ素が含まれていますが、含まれているヨウ素の量が不明です。したがって、安定ヨウ素剤の代替にはなりません。

Q 5 : 安定ヨウ素剤の効果が及ばない範囲はありますか？

A 5 : 安定ヨウ素剤の効果は、放射性ヨウ素が体内に蓄積することを軽減することだけです。放射性ヨウ素の体内への取り込みや、他の放射性核種による被ばくを抑えることもできません。

Q 6 : 安定ヨウ素剤はいつ服用するのですか？

A 6 : 安定ヨウ素剤の服用時期は国（原子力災害対策本部）又は地方公共団体が指示します。

Q 7 : 安定ヨウ素剤はどのように保管すれば良いのですか？

A 7 : 安定ヨウ素剤は直射日光のあたらない、湿気の少ない所に保管して下さい。また、温度が高い場所（夏の車中、火元の近くなど）に長期間放置することは避けて下さい。薬箱のように覚えやすい場所や非常時に必ず持ち出す防災袋に入れておくという工夫もよいでしょう。

Q 8 : 安定ヨウ素剤に有効期限はありますか？

A 8 : 安定ヨウ素剤の有効期限は、丸剤、ゼリー剤ともに3年間です。

Q 9 : 妊娠している者、授乳婦に対しても事前配布は行われるのですか？

A 9 : はい。

Q 1 0 : 追加で安定ヨウ素剤が必要となった場合や更新する場合でも、改めて説明を受けなければいけないのでしょうか。

A 1 0 : 追加的に安定ヨウ素剤が必要となった場合や安定ヨウ素剤を更新する際には、既に対象者が一度以上は説明を受けているので、改めての説明は省略できます。ただし、この場合であっても、説明内容を把握していることの再確認や医師による服用可否の判断は必要です。配布場所については、特段の制限はありません。

Q 1 1 : 安定ヨウ素剤が不要となったらどうすればいいですか。

A 1 1 : 安定ヨウ素剤は、第三者に譲り渡すことや配布された者以外の者に服用させてはいけません。不要となった安定ヨウ素剤を保有している場合には、地方公共団体に返却して下さい。

Q 1 2 : 丸剤の服用が困難な者はどうすればいいですか。

A 1 2 : 丸剤の服用が困難な場合（誤嚥等の防止を含む）には、服薬補助ゼリーやトロミ調製剤等の服薬補助剤を利用することで服用が容易になる場合があります。また、ヨウ化カリウム内服ゼリー剤又は粉末剤より調製した液状の安定ヨウ素剤を利用することもできます。適切な服用方法については医師にご相談下さい。

Q 1 3 : 慎重投与対象者や嚥下機能が低下している高齢者等の服用困難者も必ず安定ヨウ素剤を服用しないといけないのでしょうか。

A 1 3 : 安定ヨウ素剤の配布・服用が指示された場合には、服用不適切者（安定ヨウ素剤の成分、またはヨウ素に対し、過敏症の既往歴のある者）を除き、速やかに安定ヨウ素剤を服用することを原則としますが、慎重投与対象者や嚥下機能の低下等により服用が困難な者（高齢者等）については、甲状腺がんの発症リスク低減効果とその副作用等に加えて、本人の状態（嚥下機能等を含む）を踏まえた医師からの医学的な助言を勘案して、安定ヨウ素剤服用の是非を判断して下さい。なお、避難と同時に安定ヨウ素剤服用の指示があり、移動中の安全を優先し速やかな避難をした上で、放射性ヨウ素が体内に取り込まれ 8 時間以内の事後の安定ヨウ素剤服用であれば、約 40% の抑制効果が期待されます。

（注）物を飲み込むという動作を「嚥下（えんげ）」と呼びますが、その機能が低下すると本来食道にいくべきところ、気道へ誤って流入してしまい、誤嚥性肺炎や場合によっては窒息を来すことがあります。加齢や脳疾患によっても嚥下機能の低下による誤嚥が生じやすくなるといわれています。